

- 問1 奈良時代の聖武天皇の時期を中心として、遣唐使がもたらした大陸の文化や仏教の影響を強く受けて発展した、国際色豊かな文化の名称を答えなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 白鳳文化 2. 飛鳥文化 3. 天平文化 4. 国風文化
- 問2 律令国家が形成される過程で整えられた、土地と人民を直接支配するための仕組みに関する問題です。戸籍に登録された6歳以上の男女に「口分田」を与え、その人が死ぬと土地を国に返させる制度を何といいますか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 地租改正 2. 太閤検地 3. 農地改革 4. 班田収授法
- 問3 奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集で、大伴家持が編纂に関わったとされる作品を次から選びなさい。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 古今和歌集 2. 懷風藻 3. 新古今和歌集 4. 万葉集
- 問4 律令国家が確立された後、政府は支配地域をさらに広げるために東北地方への進出を強めました。9世紀初め、桓武天皇によって征夷大將軍に任命され、蝦夷の軍事指導者であったアテルイを降伏させるなど、北方の支配拡大に大きく貢献した人物は誰ですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 中大兄皇子 2. 北条時宗 3. 坂上田村麻呂 4. 足利尊氏
- 問5 奈良時代に成立した歴史書『日本書紀』には、当時の対外関係についても記されている。推古天皇の時代に、中国の隋へ使者として派遣されたと記述されている人物は誰か。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 小野妹子 2. 板垣退助 3. 北条時宗 4. 近松門左衛門
- 問6 重要文化財（建造物等）の指定件数に関する統計において、東京都や京都府に次いで全国3位の約1500件を記録している県があります。世界最古の木造建築物である法隆寺などの古い寺院が数多く存在し、かつて日本の政治の中心地であった歴史を持つこの都道府県はどこですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 奈良県 2. 和歌山県 3. 滋賀県 4. 大阪府
- 問7 律令国家の政治組織において、天皇の下には祭祀を司る神祇官と、行政を統括する太政官が置かれました。この地方行政の仕組みにおいて、中央の都から派遣された「国司」のもとで、地元の有力な豪族が任命されて実務を担った役職は何と呼ばれますか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 検非違使 2. 防人 3. 郡司 4. 県令
- 問8 710年に遷都された平城京を中心とする時代において、社会の不安を鎮めるために仏教の力を利用し、東大寺の建立や大仏の造営を行った人物は誰ですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 後白河天皇 2. 足利義満 3. 桓武天皇 4. 聖武天皇
- 問9 日本の仏教文化における彫刻作品について、製作された時期とその特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. 飛鳥文化において、東大寺南大門に安置されている金剛力士像のように、力強く筋肉質な仏像が作られた。
2. 平安時代の国風文化において、広隆寺にある弥勒菩薩像のように、指先を頬にあてて思索にふける姿の仏像が作られた。
3. 鎌倉文化において、平等院鳳凰堂に安置されている阿彌陀如来像のように、穏やかで優美な表現の仏像が作られた。
4. 奈良時代の天平文化において、興福寺の阿修羅像のように、写実的で繊細な表現の仏像が作られた。
- 問10 大宝律令が定められた後の社会では、政府は人々の名前や性別を記録した戸籍を作成し、それをもとに口分田を人々に分け与える仕組みを整えました。この制度において、収穫した稲の約3%を納める「租」とともに、地方の特産物を都まで運んで納める義務のことを何と呼びますか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
1. 雑徭 2. 調 3. 防人 4. 庸
- 問11 710年に、唐の都である長安をモデルとして現在の奈良県に造られた、律令国家の政治の中心地となった都の名前を選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 藤原京 2. 平城京 3. 難波京 4. 平安京
- 問12 古代の租税制度について述べた次の説明のうち、全国各地から平城京に集められた「調」の説明として正しいものはどれか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 口分田の面積に応じて、収穫した稲の一部を地方の役所に納める。
2. 九州北部の警備のために、防人として兵役につく。
3. 都での労働の代わりとして、布を中央政府に納める。
4. 各地の絹や魚といった特産品を、納税者が都まで運んで納める。
- 問13 聖武天皇が国ごとに国分寺や国分尼寺を建て、都に東大寺の大仏を造営した理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 武士の軍事力を結集して新しい政権を樹立するため
2. 地方の豪族を強力な武力で圧迫して支配を強めるため
3. 大陸との貿易を独占して金銀などの財貨を集めるため
4. 仏教の力によって疫病や社会不安などの災いから国を護るため
- 問14 墾田永年私財法が出されたあとの社会の変化について、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 貴族や寺院が周辺の農民や浮浪した人々を使って大規模な開墾を進め、私有地である荘園を形成した。
2. 有力な農民たちが株仲間の結成を認められ、問屋制家内工業を発展させた。
3. 商業を営む商人が同業者組織である座を結成し、幕府から独占販売の権限を得るようになった。
4. 武士の領地が細分化されるのを防ぐため、長男のみが土地を継承する単独相続が一般的になった。
- 問15 日本最古の歌集である『万葉集』には、九州北部の沿岸を守る任務に就いた男性が、故郷に残した妻や家族を想って詠んだ「防人の歌」が多く収められています。この当時の社会状況や制度に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 防人の制度は、東北地方における勢力拡大を目的として、西日本の農民を北関東へ移住させるために作られた制度である。
2. 防人は九州北部の沿岸警備を任務としていたが、その負担があまりに重かったため、家族との別れを悲しむ切実な和歌が詠まれる背景となった。
3. 防人は都を警備する「衛士」の一部が希望して就く役職であり、九州へ赴くことは農民にとって名誉なこととして捉えられていた。
4. 防人の任期は1年と短く、その間の食料は国から支給されたため、農民たちは積極的に和歌を詠むなどの文化的余裕があった。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 天平文化	聖武天皇の時代には、遣唐使によって唐の進んだ制度や文化が導入されました。この時期の文化は仏教による国家の安定（鎮護国家）を願う特色が強く、国際色豊かな「天平文化」として知られています。飛鳥文化は聖徳太子の時代、国風文化は平安時代中期に日本風の文化として発達したものです。
問2	答え 4 班田収授法	律令制度における「公地公民」の原則に基づいた土地制度です。政府は「戸籍」を作成して民衆を把握し、それに基づいて「口分田」を割り当てました。この土地は売買が禁止されており、利用者が死亡した際には「国に返す」ことが義務付けられていました。これにより、国家は安定した税収（租など）を確保しようとしていました。
問3	答え 4 万葉集	奈良時代を代表する文化遺産であり、約4,500首の歌が収められています。平安時代に編纂された初の勅撰和歌集である『古今和歌集』や、鎌倉時代の『新古今和歌集』と時代の区別をつけることが重要です。また、『懷風藻』は日本最古の「漢詩集」であり、和歌集である本作とは区別されます。
問4	答え 3 坂上田村麻呂	律令国家の形成期から拡大期にかけて、東北地方に住む人々（蝦夷）への支配を広げることは国家の大きな課題でした。坂上田村麻呂は征夷大將軍として組織的な軍事行動を行い、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどして政府の支配圏を北へと押し広げました。これは、律令国家が成熟し、領域国家として拡大していった過程を示す重要な出来事です。
問5	答え 1 小野妹子	『日本書紀』は国家の公式な歴史書であり、歴代天皇の事績や外国との交渉記録が詳細にまとめられています。聖徳太子（厩戸王）の外交政策の一環として、当時の中国（隋）へ派遣された小野妹子の事績は、飛鳥時代の重要な国際交流の記録として収められています。他の選択肢の人物は、いずれも鎌倉時代以降に活躍した人物です。
問6	答え 1 奈良県	奈良県は、7世紀から8世紀にかけて平城京が置かれるなど、日本の政治や文化の拠点として栄えた歴史があります。そのため、当時の高い建築技術を伝える法隆寺などの歴史的建造物が数多く現存しており、重要文化財の指定件数が非常に多いことが特徴です。
問7	答え 3 郡司	律令国家の地方支配は、国・郡・里という単位で行われました。中央から派遣された国司が「国」の政治を監督し、その下の単位である「郡」では、地元の状況に詳しい豪族が「郡司」に任命されて、租税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。これにより、中央政府の命令を地方の末端まで浸透させようとしていました。
問8	答え 4 聖武天皇	奈良時代、相次ぐ疫病や政変などの社会不安に対し、仏教の力で国家の安寧を願う「鎮護国家」の思想が広まりました。この思想に基づき、現在の奈良県にあたる平城京に総国分寺として東大寺を建て、巨大な大仏を造営したのが聖武天皇です。選択肢にある他の人物のうち、平安京へ遷都したのは桓武天皇、平安時代末期に院政を行ったのは後白河天皇、室町時代に金閣を建てたのは足利義満です。
問9	答え 4 奈良時代の天平文化において、興福寺の阿修羅像のように、写実的で繊細な表現の仏像が作られた。	天平文化は国際色豊かで写実的な表現が特徴であり、興福寺の阿修羅像はその代表例です。他の選択肢については、東大寺の金剛力士像は鎌倉時代の彫刻、広隆寺の弥勒菩薩像は飛鳥時代の彫刻、平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像は平安時代（国風文化）の彫刻であり、それぞれの時代の文化背景に基づいた特徴を持っています。
問10	答え 2 調	律令制下では、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与える班田収授法が行われました。土地を与えられた農民には重い税が課されており、収穫した稲を納める「租」のほかに、各地の特産品（絹や布、糸、海産物など）を都まで直接運んで納める「調」という負担がありました。このほか、都での労役の代わりに布を納める「庸」なども存在し、農民の生活を圧迫しました。
問11	答え 2 平城京	奈良時代の始まりにあたる710年に、元明天皇によって遷都されました。唐の国際的な文化を取り入れるため、その首都である長安を模して碁盤の目のように区画された都市計画がなされました。この都を中心に、天皇を頂点とする律令政治が展開されました。
問12	答え 4 各地の絹や魚といった特産品を、納税者が都まで運んで納める。	律令制度下の「調」は、地方ごとの特産物を都に届ける義務を指します。都の役人の給与や儀式の費用、国家の資材として利用されました。選択肢にある「稲の一部を納める」のは租、「労役の代わりに布」は庸、「九州北部の警備」は防人をそれぞれ指しており、制度ごとに納める品目や場所、目的が明確に区分されていました。
問13	答え 4 仏教の力によって疫病や社会不安などの災いから国を護るため	当時の奈良時代には、疫病の流行や政治の動揺といった社会不安が広がっていました。聖武天皇は仏教の力によって国を治め、不安をすずめようとする鎮護国家の思想のもとで国分寺や東大寺を建てました。
問14	答え 1 貴族や寺院が周辺の農民や浮浪した人々を使って大規模な開墾を進め、私有地である荘園を形成した。	この法令により土地の永久私有が認められたことで、財力のある貴族や大寺院は積極的に土地を開墾し、自らの私有地（初期荘園）を拡大させていきました。これにより、律令制の基本である「公地公民」の原則が実質的に崩壊し、中世の荘園公領制へとつながる大きな転換点となりました。
問15	答え 2 防人は九州北部の沿岸警備を任務としていたが、その負担があまりに重かったため、家族との別れを悲しむ切実な和歌が詠まれる背景となった。	律令制下における防人の負担は過酷なものでした。特に東国から九州北部という遠隔地への派遣は、当時の交通状況では命がけであり、3年という任期の間、農作業ができないことや自己負担による困窮は農民を苦しめました。『万葉集』に収められた防人の和歌は、こうした制度による悲劇や家族への強い情愛を現代に伝える貴重な史料となっています。東北の警備と開発を担ったのは主に「鎮守府」や「柵戸（きのへ）」に関わる人々です。